

まちでみつけた



まちで見つけた、子どもたちの笑顔を紹介します。投稿写真もお待ちしていますので、役場総務課まで送って下さい。



いい顔・かお

昨年、新聞やニュースで「テレビやゲームへの長時間接触の弊害」が度々話題にされました。それを受けて、5月に南部中学校区の保育園児、小中学生を対象に「テレビやビデオ、ゲームに関するアンケート」を実施しました。また、合併を機に法勝寺中学校区でも10月に同じアンケートを行いました。

グラフ①は「自分の部屋(寝る部屋)にテレビやゲーム機がありますか?」と聞いたものです。見ていただくとお分かりのように、南部町の子どもたちは、予想以上に自分の部屋にテレビ等を保有しています。そして、グラフ②は、ふだん夜遅くまでテレビを見たり、ゲームをしたりしていると回答した人に「何時ごろまで?」と聞いたもので

す。毎日かなり遅くまで見たり、したりしている子が多いことが分かります。さらに、保育園の時から長時間ゲームをしたり、遅くまでテレビを見たりする子が現れていることも分かりました。また、保育園の保護者からは、「家にいる時は、テレビをつけっぱなしにしていることが多い」(46%)、「両親ともそろってテレビが好き」(37%)という回答がありました。

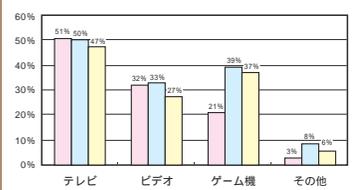
アンケートを集計しながら、「子ども

子どもは地域の宝

～学力を支える力～

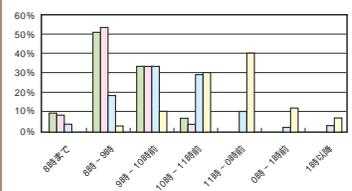
グラフ① 自分の部屋(寝る部屋)にある

□ 1～3年生 □ 4～6年生 □ 中学生



グラフ② 遅くまで見たり、したりしている

■ 保育園児 □ 1～3年生 □ 4～6年生 □ 中学生



ちは小さい時からテレビやビデオ、ゲームに接触する環境

が整っていて、保護者もそれを不自然だと受け止めていないのではないかと

「乳幼児の時から長時間接触することの危険性を感じてはいないのではないか」という思いがしました。

近年、子どもたちの基礎学力の低下を心配する声があります。学校に期待するだけでは学力は身につかせ

るだけでは学力は身につかせず、正しい生活習慣、健康、豊かな人間関係、社会性、規範意識などを育てていくことが必要です。これまでの子どもたちへのかわりを振り返って、「何が問題で、どうしたらいいのか」を家庭で、保育園・学校で話し合わせてみてはいかがでしょうか。アンケート結果は、それぞれの保育園、小中学校に返してあります。ご活用ください。

地域教育担当 唐来 秀夫